

写真でよみがえる50年 vol. 6

ふるさと

白岡紀行



合併祝賀会



白岡町の誕生を祝い、昭和29年10月1日に合併祝賀会が当時の町役場であった白岡乾藪所（現在の南彩農業協同組合白岡支店付近）で行われました。2ページの大きな写真は式典において壇上で挨拶している町長職務代理者である細井弥作氏です。

このときには、式典のほかにも各種余興、煙火、お囃子、旗行列などの盛りだくさんの行事が行われ、合併を祝いました。

写真は仮装自動車がパレードに集合したときの様子です。車種もさまざまですが、手前にはオート三輪（三輪自動車）の姿も見えます。

表紙は、昭和31年に完成した旧庁舎及び落成式と現在の庁舎

地域に根ざした

学校を旨として

本校は、昭和22年に日勝村立日勝中学校として開校しました。その後、町村合併によって菁莪中学校となり、現在に至っています。

本校は今年度から石塚校長を迎え、「楽しくなけりや学校じゃない」をスローガンに新たな学校づくりに取り組んでいます。「わかる楽しい授業」として3年生での「少人数指導」の数学の授業を一



少人数指導の様子

わが校自慢

菁莪中学校

クラスを課題別、あるいは習熟度別に分け、一教室15人単位で一人の教師がきめ細かく、徹底して教えています。

また、総合的な学習の時間の一部「梨栽培体験学習」は3年目に入りました。これは地元の26軒の梨栽培農家に3年生が数名ずつ分かれてでかけ、梨の授粉、摘果から収穫、選果を実際に体験するものです。梨の成長過程を通し、ものを作り上げることの素晴らしさを多くの生徒が感じています。また、地域のかたがたとの触れ合いを通してさまざまなことを学習しています。

本校は昨年度から、「個人差に応じた『確かな学力』の向上」を重点テーマとし、情報機器や図書室の活用も含め、「確かな学力」の育成を目指しています。

本校は小規模ですが、今後もその良さを生かし、家庭や地域社会と手を携えながら生徒の育成に努めていきます。



授粉の説明を聞く生徒